

# トキ 野生復帰にむけて

75



## 繁殖にむけて羽色が変化

1月2日、佐渡市に生息するトキの内、メス1羽に繁殖期入りを示す羽色の変化が確認されました。

トキは繁殖期になると、首の辺りから出る黒灰色の物質を体にこすり付けて黒灰色の姿に変わります。このような方法で羽根の色を変化させるのはトキ特有のもので、黒くなつた羽は繁殖可能な状態を表すとともに、巣で卵を抱く時に保護色の役割を果たすとも考えられています。1月頃から羽の色が生殖羽の黒灰色に変わり、枝渡しなどの求愛行動を経て3月頃に産卵が始まります。

昨年は佐渡島内において6組のペアが営巣し、そのうち5組で産卵が確認されましたが、孵化には至りませんでした。

3月から6月はトキの繁殖期で、ト



キが最も神経質になる季節です。トキを観察するときは遠くからトキを驚かせないよう静かに見守りましょう。

## 新潟でトキの死骸確認

平成22年12月27日、新潟市西蒲区越前浜の巻漁港においてトキ1羽(第3回放鳥、4歳メス)の死骸が

確認されました。新潟県中央家畜保健衛生所で実施した鳥インフルエンザの遺伝子検査(PCR検査)結果は陰性でした。放鳥されたトキの死骸確認は今回で2例目となります。

1月20日現在、佐渡島内で20羽、本州で4羽が確認されています。

調査チームがトキの生息などを調べるための追跡・確認・調査を行っています。トキは広い範囲を飛ぶため、市民や観察者の皆さんの目撃情報は貴重な資料となります。トキを目撃された際には、トキ交流会館まで情報をお寄せください。

## トキ目撃情報連絡先

佐渡市トキ交流会館

(佐渡市新穂潟上1101-1)

☎ 0120-980-5511

(時間 午前8時30分〜午後5時)

※トキ目撃情報専用フリーダイヤルです

FAX 0259-24-6041

(24時間受付)



# 世界遺産登録に向けて

## 「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」が正式に世界遺産の国内候補となりました。

佐渡金銀山は、昨年10月6日開催の世界遺産条約関係省庁連絡会議において、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」としてわが国の世界遺産暫定一覧表への追加記載が了承されました。

これが、11月22日にユネスコに受理され、現在ユネスコのホームページに掲載されています。

「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の掲載内容は、①日本列島とユーラシア大陸の間にある佐渡島において400年以上にわたる金・銀の採掘技術や鉱山遺跡と建造物が残っている。②石見銀山から伝播した「灰吹き法」や独自の「焼金法」により、17世紀初めに日本で最大の金銀山になった。③採掘・製錬、金貨幣

の製造にいたる一連の生産システムが示される。④佐渡金銀山から産出した金が金本位制へと移行する当時の国際経済に影響を与えたことなどが貴重であるとしています。

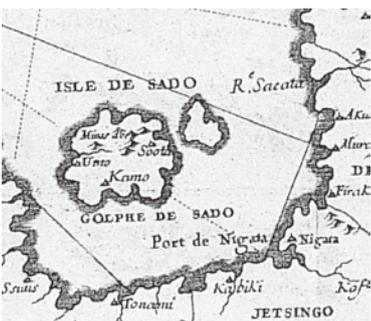
アジア地域において、400年以上にわたる金銀鉱山の採掘技術の発展と鉱山経営に関する文化的伝統の蓄積を示す類似の資産は存在しないとも紹介しています。

詳しくは、アドレス <http://whc.unesco.org/en/tentative-lists/5572/>。(The Sado complex of heritage mines, primarily gold mines)

◆市役所世界遺産推進課(金井コミュニティセンター内) ☎ 63-5136



『西洋人の描いた日本地図—ジパングからシーボルトまで 図録』(社団法人OAG・ドイツ東洋文化研究協会 編集・発行)より



佐渡の部分図(上図の拡大)